

# ファーストペンギン通信

第4号  
発行日  
令和3年4月20日(火)  
発行人  
八王子実践中学校  
中学部長 石川敦史

令和3年4月12日(月)5,6限多目的ホールにて、対面式を実施しました。新入生が学校になじめるように、現3年生が昨年の3学期から企画してきた行事です。

## 開式の辞

新入生を拍手で迎え、3年学級代表の開式宣言のあと、石川先生から「皆さんのが一日も早くお互いの名前を覚えて、いつでも頼れる、いつでも助けあえるように、みんな心を開いて楽しんで下さい。それでは3年生、よろしくお願ひします。」との挨拶がありました。

## 生徒会長挨拶

次に、生徒会長から「新入生のみなさんはまだ緊張していることと思いますが、私たちが相談相手になるので、早く学校に慣れて、ここでの生活を楽しみましょう。私たちが皆さんの手本となれるように頑張りますので、どうぞついてきてください。」と、力強い言葉を贈りました。

いよいよ始まります。3年生から一人ずつ自己紹介を始めま



す。名前、最寄り駅、趣味を述べていきます。楽しい趣味は「イケメン探し」「先生のものまね」「検温カードを書くこと」「お菓子作り」「競馬鑑賞」などで笑いを誘っていました。そしてゲームが始まります。

## NGワードゲーム



最初のゲームです。全校生徒が6つのグループに分かれてホール全体に広がります。

# 生徒手創りの対面式 J-Cast精神がみなぎっていました



各学年ごとにNGになる言葉が決められますが、何がNGかは知らされません。そのうえで自己紹介などを始めます。審判はどの学年が何回NGワードを使ったかを数えます。最も少ない学年が優勝です。口数の多い3年生が最下位でした。

## 人間知恵の輪

2番目のゲームです。今度は別の分け方で6つのグループを作りました。できるだけ、違う人と混じり合えるように考えられています。グループメンバーが輪になって立ちます。1mほどのスズランテープが配られ、テープが交錯するように組み合わせて持ちます。写真参照



テープを離さないで人の位置を変え、最後にはきれいな円陣を作ります。グループのコミュニケーション力が試されます。ソーシャル・ディスタンスにも気を遣いました。

## 椅子取りゲーム

最後のゲームでは、ホールの真ん中に13脚の椅子が円形に置かれます。その周りに合学年の20人が立ちます。音楽が流れている間は椅子の周りを歩きます。音楽が止まって座れなかった人7人が退場です。

2回目の椅子の数は8脚。3回目が5脚になり、4回目は2脚です。5回目は1脚。どんどん退場して、2年生と1年生の男子が最後の椅子を争いました。2年生の男子に司会から声がかかりま

す。「わかってる？対面式だからね。対面式。」

音楽がかかると、2人とも必死で椅子の周りを回ります。2年生はフェイントなどしながら、1年生にプレッシャーをかけます。音楽が止まりました。一瞬早く1年生が座り、ガツツポーズを取りました。



同じように、残りの2グループでも行いましたが、すべて1年生が優勝でした。空気の読める上級生ばかりでした。

## 対面式を終えて

あっと言う間に楽しい2時間が過ぎました。リーダーシップとフォロワーシップの調和が感じられる対面式でした。J-Cast精神がもう身についている生徒の皆さんに拍手を贈りたいと思います。